

第2次寒川 学びプラン

令和4年度事業報告（案）

ともに学び・ともに支えあう
自己実現と協働のまち・さむかわ

「第2次寒川 学びプラン」令和4年度事業報告

事業実施状況の概要

【評価目的】 「第2次寒川 学びプラン」に掲げた65事業の進捗状況を把握し、その評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性を確保し、「第2次寒川 学びプラン」の基本理念である「ともに学び・ともに支え合う自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

【評価項目】 令和4年度事業の実施状況の評価

【評価方法】 事業実施課が令和4年度事業の評価を目標数値に対する実績値の割合により、次の区分で評価する。

【令和4年度の評価】

- A： 目標数値に対して90%以上
- B： 目標数値に対して70%以上90%未満
- C： 目標数値に対して70%未満
- D： 事業を実施できなかった

【評価の結果】

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	A	B	C	D
1 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の 支援	1～3	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	2 ライフステージに応じた 学習機会の充実	4～18	15	8 事業 53.3 %	4 事業 26.7 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %
	3 学習ニーズ・現代的課題 への対応	19～29	11	10 事業 90.9 %	1 事業 9.1 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	4 学習環境の充実	30～44	15	8 事業 53.3 %	3 事業 20.0 %	3 事業 20.0 %	1 事業 6.7 %
2 「活かす」 学んだことを活かせる 生涯学習	1 学習成果を発表する機会 の充実	45～46	2	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %
	2 学習成果を地域で活か す機会の充実	47～52	6	2 事業 33.3 %	1 事業 16.7 %	1 事業 16.7 %	2 事業 33.3 %
3 「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学 習機会の充実	53～55	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	2 まちづくりにつながる活 動の支援	56～65	10	7 事業 70.0 %	1 事業 10.0 %	2 事業 20.0 %	0 事業 0.0 %
合 計			65	42 事業 64.6 %	10 事業 15.4 %	9 事業 13.8 %	4 事業 6.2 %

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向1】自主的・自発的な学習の支援

【施策1】学習情報の提供・学習相談機能の充実

NO	事業名		4年度事業報告						担当課		
	事業内容	4年度実行計画	4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値					R4 評価	事業の成果・課題等
					下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
1	生涯学習関連事業の 情報提供	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行し、町ホームページへの掲載や公共施設に配架し、町や関係機関が主催する講座やイベントの情報提供を行った。	各課等で行われる年間の講座、教室等の総事業数(件)	190	190	190	190	A	町の生涯学習関連事業をとりまとめた情報誌を定期的に発行することで、町民の自主的・自発的な学習支援や学習機会の提供を行うことができた。総事業数は令和3年度に比べコロナの影響を受けることが少なかったことなどから増加し、目標値に達した。	学び推進課
	町民の生涯学習を推進するため、各課等で行われる講座・教室等の情報を取りまとめ、情報提供を行います。（さむかわ町民大学）				183	190					
2	広報活動事業	広報紙、町ホームページ、メール配信サービス、広報板、ツイッター、LINE、テレビ放送、エフエム放送、報道機関など様々な媒体を活用し、生涯学習の推進に資する情報提供を行います。	町の施策や事業などの情報を、次の媒体を活用して提供した。 【活用媒体】 ①広報紙 ②町ホームページ ③便利ガイド ④メール配信サービス ⑤広報板 ⑥Twitter ⑦Facebook ⑧Instagram ⑨LINE@ ⑩マチイロ（i広報紙） ⑪マイ広報紙 ⑫新聞・タウン紙 ⑬J-COM ⑭YouTube ⑮コミュニティ放送（レディオ湘南・さむらじ） ⑯デジタルサイネージ ⑰正面玄関モニター ⑱PRtimes ※なお、昨年まで活用していた「マチマチ」については、サービスの終了に伴い、令和4年5月31日付で協定を解除した。	情報提供を行う媒体数(件)	17	17	17	17	A	情報発信媒体の一つである「マチマチ」については、サービスが終了してしまいましたが、新たな情報提供媒体として、プレスリリースサイトである「PRtimes」の利用を開始した。 また、町ホームページについては、利用者が探したい情報を容易に取得できるよう9月にリニューアルを行った。	広報戦略課
	広報紙、町ホームページ、メール配信サービス等の様々な媒体を活用し、行政の施策や事業など町の情報提供を行います。				18	18					

3	生涯学習情報紙の発行及び相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の子ども向けの講座やイベント等を掲載する情報紙「すきっぷ」を年4回発行する。 ・町が実施する生涯学習事業を紹介する「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「すきっぷ」を年4回発行し、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う全児童に配布した。 ・町が行う生涯学習事業を集約した「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行し、情報提供を行った。 	生涯学習情報紙の年間発行回数(回)	5	5	5	5	A	定期的に「すきっぷ」を発行することで、子どものための生涯学習情報媒体として定着した。子どもたちが講座や教室、イベント等へ参加するきっかけとなっており、今後も紙面による配布を続けていく。	学び推進課
	町民に生涯学習に関する情報提供を行うため、生涯学習に関する情報紙を発行するとともに情報の収集・発信や各種相談への対応を行います。			5	5						

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策1】乳幼児期における学習機会の提供

NO	事業名	4年度実行計画	4年度事業報告						R4評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		4年度実施状況	目標指標(単位)	上段:目標数値						
					R3	R4	R5	R6			
4	乳幼児を対象とした公民館事業	<ul style="list-style-type: none"> 【町民センター】こども映画会、ママとベビーのふれあい体操 等 【北部公民館】おはなし図書館、七夕飾り作り教室 等 【南部公民館】おはなし広場、親子でクラフト教室、親子リトミック教室 等 【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【町民センター】3事業9回・延べ76人参加 ママとベビーのふれあい体操、こども映画会 【北部公民館】9事業10回・延べ106人参加 おはなし図書館、夏休みおはなし図書館、クリスマス軽量樹脂粘土教室 【南部公民館】14事業14回・延べ255人参加 親子でクラフト教室、おはなし広場、親子でリトミック体験、親子でミニリトミック体験、クリスマス広場 	講座・教室等の開催回数(回)	38	38	40	40	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とすることが難しいことから令和2、3年度は機会が減っていたが、令和4年度は回復傾向にある。目標達成には至らなかったが、前年度より増加し、機会提供につながった。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、乳幼児を対象とした講座・教室等を開催します。			28	33						

5	子育て支援センター事業	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施 実施日：月～金曜日 9：00～16：00（土・日・祝日・年末年始及び月1回月曜日の午後を除く）	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き時間・人数を制限して開所した。	子育て支援センターの利用者数(人)	9,490	9,540	9,610	9,670	C	育児や子育てに関する情報提供と相談対応など子育て支援体制の充実を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き利用者数を制限しての開所をした。育児不安を抱える保護者に対しては手紙や電話により状況の把握に努めた。	子育て支援課
	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施や、利用者のきっかけづくりとなるイベント等を開催します。				3,722	6,010					
6	母子健康教育事業	事業の方向性 維持・継続 ①父親・母親教室：1コース4日年5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース2日年5コース 10回 ③離乳食講習会：前期12回後期6回 18回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり講座1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計133回	①父親・母親教室：1コース4日年5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース1日年5コース 5回 ③離乳食講習会：前期14回（申し込みが定員超えた4月と9月で午前午後の1日2回開催）後期6回 20回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり講座1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計130回		133	133	133	133	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、各種講座・健康診査を通して、必要な情報を提供し、相談先を周知し、相談等は必要に応じて対応することができた。	子育て支援課
	初妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児についての知識と技術を伝えるとともに、他の妊婦等と知り合うことや相談先を知るきっかけづくりとして父親・母親教室等を実施します。				127	130					

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策2】青少年期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
7	豊かな心・文化育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5校において芸術鑑賞事業のための一部補助 中学校3校において部活動の推進の補助及び進路指導に係る諸経費の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 芸術鑑賞は、2校において町の補助金を活用し実施した。その他の1校は感染者が増えた時期に予定していたため中止となり、2校は文化庁主催の文化芸術鑑賞・体験再興事業を活用しての実施となった。 中学校3校に部活動の推進として大会参加費及び吹奏楽部への補助を行った。 中学校3校に進路指導に係る諸経費の補助を行った。 	進路指導、部活動及び芸術鑑賞の取組学校数(校)	14	14	14	14	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童に様々な芸術に触れる機会を提供して、感性を高めるとともに、生涯学習の基礎づくりと充実を図ることができた。 中学校3校への部活動の充実に向けた補助をしたことにより、子どもたちの部活動を充実させることができた。 中学校3校において、進路指導に係る諸経費の補助を行うことにより、各校において効率的かつ丁寧な進路指導を行うことができた。 	学校教育課
	児童生徒の実態を生かした知育・徳育の観点から、児童生徒が将来の進路や優れた芸術文化・スポーツに触れる機会を創出することで、豊かな心を育成するとともに、文化芸術に対する興味関心及び意識の向上を図るため、進路指導や部活動、芸術体験事業の充実のための支援を行います。				9	11					
8	「地域のせんせい」ふれあい推進事業	地域の人材を活用して、町内小・中学校における授業の補助、体験的学習等を行う。 (各校の実態による)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、各学校が感染対策の工夫を凝らしながら、地域の人材を活用することができた。 	体験的教育活動と指導の項目数(件)	45	45	45	45	A	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いている時期に、各学校が感染対策の工夫を行い、地域の人材を活用することができ、有意義な時間を過ごすことができた。 課題としては、毎年同じ地域人材を活用していることが多く、地域人材の高齢化に伴い、新規の人材を探していく必要がある。 	学校教育課
	体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実を図るため、地域協力者の活用を推進します。				40	46					

9	さむかわゆうゆう学園の実施	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。 対象事業に1回参加すること、に、スタンプカードにスタンプを1個押し、10個スタンプを集めた申請者に修了証と記念品を贈呈する。	・「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回発行した。 ・子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」にゆうゆう学園対象講座を掲載し、事業の紹介を行った。 ・スタンプを10個集めた申請者に対して「ゆうゆう学園修了式」を実施し、町長から修了証及び記念品を授与した。	修了証交付人数(人)	35	35	35	35	C	令和4年度は町長から修了証と記念品を子どもたちに授与することができ、その内容を広報に掲載することで制度のPRを行った。 「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」や「すきっぷ」の発行を通して、子どもを対象とした講座や教室を周知し、子どもたちの参加につなげることができたが、修了証申請者数は目標数値に届かなかった。引き続き、事業の周知方法を工夫しながら、多くの人にゆうゆう学園に参加してもらうきっかけをつくり、修了証申請者の増加につなげていきたい。	学び推進課
	青少年に地域での学習機会を提供し、学びに目を向ける動機づけとなるよう、町の機関等が実施する事業をとりまとめて参加を奨励します。			18	21						
10	子どもの読書活動推進に関する事業	【総合図書館】土曜日おはなし会、ぬいぐるみおとまり会、ジュニア司書講座、図書館・文書館体験ツアー、わくわく読書マラソン、おすすめカード募集、YA向け図書館通信発行、絵本小規模企画展示、児童向け展示、YA向け展示等	・おひざにだっこのおはなし会(毎月第1日曜日、第4水曜日)22回・延べ139人 ・土曜日おはなし会(毎月第1・2・3土曜日)32回・延べ204人 ・出張わらべうた:6/23参加者13組、10/6参加者14組、2/9参加者12組 ・夏のスペシャルおはなし会:8/3参加者10人 ・真夏の夜のおはなし会:8/27・参加者25人 ・冬のスペシャルおはなし会:12/24参加者15人 ・ぬいぐるみおとまり会:5/20~21参加者10人、12/2~3参加者9人 ・ジュニア司書講座7/26~8/27(8回)参加者42人 ・わくわく読書マラソン:7~8月参加者285人 ・おすすめカード募集:7~8月参加者124人 ・図書館、文書館体験ツアー:8/1参加者5人 ・十進王国クイズラリー(毎月)参加者478人 ・児童書展示(10回)、絵本小規模企画展示(24回)、YA展示(6回)	子ども読書活動に関する事業の提供回数(回)	95	95	100	100	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、青少年を対象とした当該事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度は再開し、数多くの機会提供へつなげた。 総合図書館の図書展示は利用者アンケートでも評価が高く、今後は新たな利用者の増加につなげられるよう事業の推進をする。	教育政策課
	地域における子どもの読書活動を推進する上で、図書館は重要な役割であり、そのための人づくり、環境づくり、情報提供等の事業を実施します。			27	125						

11	青少年を対象とした公民館事業	【町民センター】にこにこ学習会、子ども科学教室、星空観察会等 【北部公民館】親子ホタル観察会、マイコンプログラム教室、子ども実験教室等 【南部公民館】子どもクッキング教室、寒中吹奏楽部による楽器体験、かけっこトレーニング等 【3館共通】イングリッシュキャンプ、絵画教室、書き初め大会	【町民センター】にこにこ学習会、TGG(東京英語村)バスツアー等15事業62回・延べ2,865人 【北部公民館】親子でホタル観察会、子ども実験教室等 12事業14回・延べ320人 【南部公民館】子どもクッキング教室、かけっこ教室等 19事業20回・延べ429人 【共通】ジュニア絵画展、応募作品数1525点 書き初め大会、参加者60人	講座・教室等の開催回数(回)	97	97	102	102	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度は再開し、数多くの機会提供へつながった。令和4年7月より、講座申込をインターネットでの入力フォーム方式を導入したところ、参加申し込みが以前より増加し、効果が見られた。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、青少年を対象とした講座・教室等を開催します。			41	96						
12	青少年育成事業	子どもまつり(6/4、1回、300名)、小学生体験学習事業(2事業「いも掘り体験(5~11月、1回、30名)」「キャンプ(8/21~22、1回、40名)」、創意くふう展(7~11月、1回、町内の小学校児童及び中学校生徒)、青少指定例会(4~3月、11回、20名)、青少指派遣(子ども会等からの依頼時、2回、数名)、愛護パトロール(7月、11月、2月、3月、計5回、各2名)、青少年問題協議会(7月、2月、年2回、19名)、成人式(1/9、1回、500名)、ジュニア・リーダーズクラブ定例会(4~3月、9回、7名)	子どもまつり(6/4、1回、83名)、小学生体験学習事業(2事業「小学生農作業収穫体験(5~11月、1回、19名)」「工房体験(10/29、1回、21名)」、創意くふう展(9~10月、1回、町内の小学校児童27名、中学校生徒30名)、青少指定例会(4~3月、11回、20名)、青少指派遣(子ども会、2回、5名)、愛護パトロール(7月、11月、3月、計4回、各2名)、青少年問題協議会(7月、2月、年2回、19名)、成人式(1/9、1回、346名)、ジュニア・リーダーズクラブ定例会(5~3月、6回、9名)	町が行う青少年健全育成事業開催数(回)	35	35	35	35	B	コロナ禍以降中止していた事業を再開することができた。工房体験については定員以上の申込みがあり、実施後のアンケート結果も良好で、初めての試みだったが有意義な事業にすることができた。ジュニア・リーダーズクラブについては、活動を再開したことで3名の新規会員加入があった。その他にも子どもまつり、小学生農作業収穫体験、創意くふう展、青少年問題協議会、成人式等の事業の開催や、青少年指導員連絡協議会、子ども会等の団体活動の支援を行うことで、青少年の健全育成につなげることができた。	学び推進課
	青少年の健全育成に向け、幅広い年齢層が参加できる事業の実施や指導員、リーダーの育成を図り、青少年活動を支援します。			4	30						

13	ふれあい塾運営事業	さむかわふれあい塾（給食のある月、水、金、111回、小学校に通学する全児童が対象）	未実施	参加人数（人）	7,450	7,450	7,450	7,450	D	新型コロナウイルス感染防止のため、事業を実施しなかった。	学び推進課
	0				0						

【基本目標 1】 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 2】 ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策 3】 成人期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
14	成人を対象とした公民館事業 ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、成人を対象とした講座・教室等を開催します。	【町民センター】 初心者ヴォーカル講座、書道入門講座、小物盆栽講座 等 【北部公民館】 そば打ち教室、ニュースペーパーバッグ作り、陶芸教室、等 【南部公民館】 ボールペン習字教室、中国語超日常会話体験、世界遺産講座 等	【町民センター】 基礎から始めるポピュラーソング・ボーカル講座、書道講座、初めての小物盆栽講座 等 30事業45回・延べ3804人 【北部公民館】 おもしろ寄せ植え教室、ニュースペーパーバッグを作ろう、初心者麻雀教室、陶芸教室 等 22事業35回・延べ474人 【南部公民館】 ボールペン習字教室、中国語長日常会話体験、世界遺産から見た沖縄 等 24事業32回・延べ371人	講座・教室等の開催回数（回）	115	115	115	115	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度は再開し、数多くの機会提供へつながった。	教育政策課

15	労働講座等の開催	・寒川町商工会と町の共催で創業支援セミナーを実施予定 ・他市等広域で湘南合同就職面接会を実施予定(令和5年1月予定) ・他市等広域で企業と高校の情報交換会を実施予定(令和4年6月9日予定)、全1回 ・労政問題懇話会と町が共催で労働講座を実施予定	○労働講座 開催日: 令和5年2月13日 会場: 町民センター 視聴覚室 参加人数: 38名 ○湘南合同就職面接会 開催日: 令和5年1月25日 会場: 藤沢商工会館 ミナパーク 参加人数: 54名(10代・20代: 8名) ○企業と高校の情報交換会 開催日: 令和4年6月9日 参加校数: 26校 会場: 藤沢商工会館 ミナパーク ○創業支援セミナー 開催日: 10~11月 会場: 寒川町商工会 参加人数: 16名	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	4	4	A	労政問題懇話会との共催による労働講座を開催し、勤労者等の災害に対する不安解消に寄与した。 湘南合同就職面接会では、寒川町・藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢の主催で、神奈川県等と共催し感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就業機会に繋がる事業を行った。 また、企業と高校の情報交換会について、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・大和市・綾瀬市・ハローワーク藤沢・ハローワーク大和及び各商工会議所(商工会)と共催で開催し、高校と企業の情報交換の場を創出した。 その他、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。	産業振興課
	若者の職業的自立や勤労者の不安等の解消を目的として、講座等の開催や情報提供を行います。				4	4					

【基本目標1】 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】 ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策4】 高齢期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段: 目標数値						
					下段: 実績値						
R3	R4	R5	R6								
16	高齢者を対象とした公民館事業	【町民センター】 高齢者のための生き方講座、体にやさしい健康体操 【北部公民館】 シニアクラス、大人の超初心者パソコン教室、囲碁開放 【南部公民館】 ソフトバレー体験、囲碁・将棋開放	【町民センター】 先人・賢人から学ぶ人生の生き方と終わり方、検診で賢く命を守ろう 2事業2回延べ41人 【北部公民館】 スマホを買う前のスマホ教室、シニアクラス、大人の超初心者教室、囲碁開放 9事業8回延べ1055人 ※開放事業は回数を計上しない 【南部公民館】 囲碁・将棋開放 1事業延べ2,045人 ※開放事業は回数を計上しない	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	15	15	A	令和3年度より実績値は減少したが、目標値には達成した。高齢者を対象を絞った事業数は少ないが、成人対象事業の参加者は大半が高齢者層であり、学習機会の充実は図られている。高齢者世代に共通する課題、テーマなどを拾い上げ、今後の事業実施に繋げる必要があると考える。	教育政策課
	13				10						

17	高齢者生きがいづくり等支援事業	令和4年度寒川町シニアクラブ連合会運営費補助金の交付	シニアクラブ活動等事業・シニアクラブ連合会職員の人件費補助 シニアクラブ連合会 シニアクラブ数:14クラブ 会員数:601人(3月末日時点)	シニアクラブ加入者数(人)	695	700	705	710	B	シニアクラブへの支援を通じ、町内の高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。 しかし、令和4年度も引き続き新型コロナウイルスが流行したことにより、事業が予定通りに開催できない状況であった。 結果として、会員も減少してしまったため、加入者増加のためのPRを行う必要がある。	高齢介護課
	地域での生きがいづくり、健康づくり推進のため、シニアクラブの活動を支援します。				606	601					
18	介護に関する講座等の開催(介護予防事業)	元気はっけん広場(集合版)年96回 元気はっけん広場(在宅版)年12回	前年度同様感染症対策を施しての事業実施となった。緊急事態宣言等による事業の中止もなく、元気はっけん広場と高齢者健康トレーニング教室は予定通りに開催でき、講師派遣事業も前年より46件増となった。	講座・教室等の開催回数(回)	173	179	186	192	A	元気はっけん広場(集合版)において新規参加者獲得のためクール毎に開催曜日を変更したことで合計28名の新規参加者を獲得できた。その反面曜日変更の影響で第2・3クールで定員割れが発生した。 高齢者には特定の曜日が町主催介護予防教室の日と深く認識されており、他の曜日は別の用事があることが多いので、令和5年度からは以前の曜日に戻して開催を行う。	高齢介護課
	高齢者の社会参加、介護予防に関する学習機会を提供します。	高齢者健康トレーニング教室年24回 介護予防講師派遣(年120回まで)				150	211				

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策1】スポーツ・健康について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
19	スポーツ活動応援事業	○大会・イベント スポーツデイ、レクリエーションフェスティバル、オープン卓球大会	①初心者弓道教室(全8回) 1回 ②春季テニス教室(全4回) 1回 ③ヘルスライフアカデミー9回 (令和4年12月にて、事業終了。)	講座・教室・大会等の開催回数(回)	13	15	17	19	A	新型コロナウイルス影響を受け、イベント規模を縮小して実施したのもあったが、多くの教室・イベントを再開することができた。 また、近隣市と連携して新規のスポーツイベントを行うことができた。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、町民に各種スポーツに関する教室・大会等の学習機会を提供します。	○教室 初心者弓道教室(5月から7月まで全8回)、テニス教室(年3回)、卓球教室(9月開催、全4回)、ヘルスライフアカデミー(毎月開催、全12回)	④2022さむかわスポーツデイ 1回 ⑤レクリエーションフェスティバル 1回 ⑥湘南スポーツキッズフェスタ 1回	11	14						
20	健康運動ボランティアによる地域活動の開催	健康づくり体操の日を4月から再開予定。1回25人の人数制限を設け、床で行うような体操は行わず、使用する用具については毎回消毒するなど感染対策に配慮しながら年22回行っていく予定。	健康づくり体操の日は全22回すべて実施。延べ参加人数573人。感染対策に配慮しながら、人数制限を途中からなくして実施した。 また、健康運動ボランティアの地域活動について、団体等からの依頼が5件、町事業を含めて計22回の活動を実施。	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数(回)	45	45	45	45	A	令和4年度より健康運動ボランティアの活動の再開となり、感染対策を講じながら継続して実施することができた。コロナ禍において外出の機会が減っていた中で、運動を通じた活動の機会を提供することができた。 活動再開により団体からの依頼が増えてきているが、ボランティアの人数が減っているグループもあるため、依頼とボランティアとの調整が課題。	健康づくり課
	健康運動ボランティアによる地域活動を行い、学習の機会を提供します。	4月13日(水) 21日(木) 5月11日(水) 25日(水) 6月8日(水) 16日(木) 7月13日(水) 21日(木) 8月4日(木) 9月7日(水) 22日(木) 10月6日(木) 26日(水) 11月9日(水) 30日(水) 12月8日(木) 22日(木) 1月26日(木) 2月8日(水) 22日(水) 3月9日(木) 22日(水)	0	44							

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策2】環境について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
				R3	R4	R5	R6				
21	環境に関する講座等の開催	環境に関する講座等については、例年通り実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、規模の縮小や中止の判断をすることがあります。	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、町と環境団体との連携のもと以下の学習講座等を実施し身近な環境体験の機会の増加と環境問題への意識向上を図った。 1. 環境フェスティバル(5月) 実施 2. 環境教室(5月) 実施 3. 川の生き物調査隊(7月) 中止 4. 自分の生き物図鑑をつくろう(森を知ろうから変更)(8月) 実施 5. 車のエネルギーについて学ぼう(親子環境バスツアーから変更)(8月) 実施 6. 寒川の河原で遊ぼう(10月) 中止 7. 環境バスツアー(11月) 中止 8. 住みよいまちづくり条例ポスター展(12月) 実施 9. 環境保全研修会(1月) 実施(オンライン開催) 10. 野鳥観察会(1月) 実施 11. 自然観察の森での環境学習会(3月) 実施	10	11	11	11	B	新型コロナウイルスの影響もあり、中止になった行事もあったが概ね行うことができた。多くの町民が積極的に環境学習に参加し、好評を得ている。町としても身近な自然環境の大切さや、環境課題を町民自らが学ぶ機会の場として今後も続けていきたい。 また、新型コロナウイルスが5類になり令和5年度からは参加者が増える予想されるためしっかりと準備する必要がある。	環境課	
	環境問題の認識を深めるため、環境教育・学習の場の提供を推進します。			5	8						

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策3】安全について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					R3	R4	R5	R6			
22	防災に関する教室の開催	各種団体、学校、保育園等において、防災に関する講座、教室等を実施します。	各種関係団体において、講習会や研修会を実施した。 6/27 ゆめクラブ大曲 17名 7/2防災リーダー研修会 36名 9/24宮山自主防災 16名 10/19寒川小 4年生 84名 11/1岡田すいせんサロン 41名 11/21筒井自主防災 70名 1/22大曲自主防災 40名 1/22避難所開設訓練 2/13労政問題懇話会 34名 3/16防災講演会 視聴数:199回	講座・教室等の開催回数(回)	11	11	11	11	A	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、徐々に講習会等を実施する団体も増加してきており、少しずつ目標数値に近づいてきている また、防災講演会も昨年同様に動画配信形式で実施した 今後も自助・共助の重要性から、継続的に実施していく必要がある。	町民安全課
	2				10						
23	交通安全教室の開催	町内5小学校において、道路の歩行訓練(1年生)、自転車の乗り方(3年生)を実施します。また、高齢者向けの交通安全講習を実施します。	コロナ禍により実施していなかった交通安全教室(1年生歩行教室、3年生自転車教室)を令和4年度より茅ヶ崎警察署に協力をいただき開催した。	講座・教室等の開催回数(回)	6	6	6	6	A	小学生対象の交通安全教室(1年生歩行教室、3年生自転車教室)継続して、実施していきたい。 また、高齢者向けの講習も実施していく必要がある。	町民安全課
	5				10						
24	消費生活に関する講座等の開催	町内自治会等へ消費生活における最近のトラブル事例をお伝えします。	・持っていない方・これから検討される方のための「消費生活を学ぶ」(不当請求の体験)シニア向けスマートフォン教室 開催日:2022年(令和4年)10月4日(火) 場 所:町民センター視聴覚室 講 師:KDDI(株)認定講師 参加人数:20名	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	1	1	A	スマートフォンで「不当請求」の体験と不当請求等の対策を学ぶ機会を提供することができた。 定員以上に申込があり受講できなかった方もいたので、今後も同様な教室を開催することを検討する。	町民窓口課
	1				1						

【基本目標 1】 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 3】 学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策 4】 生活課題について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名		4年度事業報告				R4 評価	事業の成果・課題等	担当課		
	事業内容	4年度実行計画	4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
25	福祉に関する講座等の開催	コロナ禍が引き続いた場合、講座や学習機会が中止されることも予想されるが、多くの住民から希望されている講座の実施や福祉啓発の場を提供します。また、自治会や民生委員児童委員、社会福祉法人等の関係団体、法人全体での組織内連携も踏まえて実施します。	コロナ感染予防のために、開催の方法などは引き続き多くの工夫が必要とされたが、可能な限り、イベントや講座を実施。新たな地域福祉の理解者を増やし、今後の地域福祉活動の担い手を育てた。 ○第39回福祉大会（表彰者のみで縮小開催）○第13回寒川町ふれあい福祉フェスティバル中止（企画運営委員と協議し中止としたが、全体会議を開催できた）○町内小中学校での福祉を育む学びの場づくり、地域における福祉体験の場づくり（ボランティア学びあい講座、民生委員地区協議会、町シニア連および単位クラブにて社協事業の説明）○社会福祉士養成のための相談援助実習の受け入れ ○認知症サポーター養成講座 ○権利擁護ネットワーク連絡会全2回開催 ○成年後見講座 ○ボランティア講座 ○ボランティア体験会（小学生から高校生を対象）○みんなの健康セミナー ○認知症サポーター養成講座（自治会、町内高齢者施設、民生委員、シニア連等で開催、ステップアップ講座も開催）の開催、地域福祉フォーラムの開催 ○介護に関する入門的研修の開催等。	講座・教室等の開催回数(回)	40	40	40	40	A	コロナ禍での状況を見つつ、オンライン開催、ハイブリッド開催も活用しながら、各種の学びの場を、対象も様々に開催した。開催回数は開催の形を変えたりとしたため、回数は減少した事業もあるが、最終的には増加した。講座は今後の地域福祉活動で実用的に生きるよう工夫して行っている。	福祉課（社会福祉協議会）
	地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会を提供します。				41	73					

26	男女共同参画推進事業	引き続き、(2市1町) 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 男女共同参画特別講演会及び神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業での講演会を開催する。新型コロナウイルスの感染状況に応じてオンライン講演会も検討する。	・(2市1町) 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 開催日: 2023年(令和5年)2月2日(木) 会場: 藤沢市役所本庁舎8階8-1, 8-2会議室 講師: 星野 慎二(ほしの しんじ)氏(特定非営利活動法人SHIP理事長) テーマ: 性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり 参加人数: 47名 ・神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日: 2022年(令和4年)11月2日(水)~11月30日(水) 実施場所: YouTubeによる動画配信 講師: 鈴木恵枝(すずき よしえ)氏 テーマ: 男女がともに輝くように女性活躍幸福視点とイキイキ人生のための「リーダーシップ」と「コミュニケーション」 参加者数: 141名	講座・教室等の開催回数(回)	2	2	2	2	A	男女が公的・私的分野を問わず、政策・方針決定過程へ参画できる社会を実現するためには何が必要なのか考えるきっかけを提供することができた。アンケートによると、好きな時間に視聴できるオンライン開催を継続してほしいという声をいただいた。今後もオンライン開催を検討する。	町民窓口課
	男女共同参画社会実現に向けた意識啓発を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				2	2					
27	平和推進事業	平和パネル展を開催し、平和思想の普及・浸透を図る。	・平和パネル展 開催日: 2022年(令和4年)8月9日(火)~8月19日(金) 場所: 寒川総合図書館 テーマ: 川崎大空襲から平和について考える 来場者数: 10, 584人	平和推進事業の開催回数(回)	1	1	1	1	A	多くの方が来館する寒川総合図書館で開催したことで、幅広い世代の方に平和思想の普及・浸透を図ることができた。今後、展示回数を増やすことを検討する。	町民窓口課
	平和思想の普及・浸透を図るため、展示・講演会等の学習機会の提供を図ります。				1	1					

28	家庭教育支援に関する事業の開催	<p>【町民センター】ママとベビーのふれあい体操、星空観察会、メダカの飼育講座</p> <p>【北部公民館】親子ホタル観察会、おもしろ寄せ植え教室、子どもフェスティバル</p> <p>【南部公民館】親子でクラフト教室、親子リトミック教室、中学生クッキング教室</p> <p>【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会</p>	<p>【町民センター】子ども映画会、4/16、6/11、延べ49人、親子で楽しく学ぶ恐竜の話、11/12、38人、星空観察会、1/28、27人、親子工作教室、1/29、26人、ママとベビーのふれあい体操、11/24、11/28、延べ14人、みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、12/3、300人</p> <p>【北部公民館】おはなし図書館4～3月、延べ73人、親子でホタル観察会、5/29、37人、北部ハロウィン、10/29、36人、親子サロン(開放)通年、延べ33人</p> <p>【南部公民館】おはなし広場幼児4～2月、延べ68人、親子でクラフト教室4～12月、延べ56人、親子でミニリトミック体験、8/5、2/6、延べ26人、親子でリトミック教室、10/31、11/7、延べ56人、クリスマス広場、12/18、49人、南部ほっとオアシス(開放)通年、延べ29人</p> <p>【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、年22回、139人、出張わらべうた会、6/23、10/6、2/9、延べ32組</p>	講座・イベント等の実施事業数(件)	6	8	8	8	A	令和4年度は公民館講座、図書館講座ともにコロナ禍以前より実施していた事業の再開と、新規事業開催も増え、数多くの機会提供へつなげた。	教育政策課
	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供します。			12	18						

29	現代的・地域的課題に関する講座等の開催	【町民センター】ボランティア育成講座、地域の語り部による講座、環境講座、人権講座、平和講座 【北部公民館】SDGsから世界を知る講座、シニアクラス、メンズクッキング、応急手当講習会、寒川歴史散歩、お飾り作り教室 【南部公民館】傘からエコバッグ作り、一之宮を再発見しよう講座、防災気象講座、文書館出前講座、世界遺産講座、寒川神社を知ろう講座 【3館共通】イングリッシュキャンプ、だがしや楽校	【町民センター】平和講座、8/27、11人、投資の講座、12/25、8人、先人賢人から学ぶ人生の生き方と終わり方、7/9、26人、検診で賢く命を守ろう、1/15、15人、地域の語り部講座3/21、20人、だがしや楽校、11/23、193人 【北部公民館】おもしろ寄せ植え教室4/23、8/27、11/12、43人、寒川のホタル展、5/22～6/4、延べ92人、親子でホタル観察会、5/29、37人、SDGsから世界を知る講座、6/25、12人、インターネット被害者未然防止講座、9/25、15人、大人のパソコン超初心者教室、10/4～25(4回)、36人、健康寿命で悔いのない人生を！、12/21、14人、スマホを買う前のスマホ教室、6/29、12人、シニアクラス、7～2月(6回)延べ72人、寒川歴史散歩、11/26、5人、お飾り作り教室、12/24、16人 【南部公民館】梶原景時小学生クイズ大会、7/2、19人、傘からエコバッグ作り、5/9、10人、中国語超日常会話体験、6/25、14人、梶原景時早わかり講座、6/27、14人、寒川中学校吹奏楽部演奏会、8/23、60人、自治会文書が語る戦時下の暮らし、8/7、15人、世界遺産から見た沖縄、9/25、21人、さむかわ音楽講座(音楽療法)、10/2、24人、大神塚古墳講座、11/27、11人、だがしや楽校、10/22、65人 【3館共通】イングリッシュキャンプ(小1・2、3・4、5・6、成人の4コース)、延べ136人	講座・教室等の開催回数(回)	15	16	18	20	令和4年度は公民館講座、図書館講座ともにコロナ禍以前より実施していた事業の再開と、新規事業開催も増え、数多くの機会提供へつながった。北部公民館の「おもしろ寄せ植え講座」は北部公民館で「公民館花いっぱい運動」をコンセプトに実施した事業で、講座参加者で公民館の花植えボランティアが立ち上がり、地域活動に繋がった。	教育政策課
	現代的・地域的課題に関する講座・教室等の学習機会を提供します。			27	31			A		

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】学習環境の充実

【施策1】施設の有効活用

NO	事業名	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
				R3	R4	R5	R6				
30	青少年広場の有効活用	寒川町青少年広場（開場：4～9月9：00～18：00、10～3月9：00～17：00、閉場：12/29～1/3、広場内施設：グラウンド、多目的広場、バーベキュー場、対象：町内在住、在勤、在学、青少年が主体）	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド 年間利用件数：502件 年間利用人数：17,033人 ・多目的広場 年間利用件数：194件 年間利用人数：6,778人 ・バーベキュー場 年間利用件数：151件 年間利用人数：7,740人 	年間利用者数(人)	28,000	28,000	28,000	28,000	A	年間を通して多くの利用者があり有意義だった。	学び推進課
				27,566	31,551						
31	図書館の有効活用	【総合図書館】回想サロン、絵本と安眠グッズ講座、マッチラベルコレクション講座、布絵本講座、大人のためのおはなし会、映画会、バリアフリー映画会	利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえる図書館を目指し、視聴覚を含む資料の収集提供や快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを行った。 ①開館日数：総合図書館306日、分室310(日) ②利用件数(資料貸出点数)：288,213点 ③利用者数：229,922人 ④図書館講座(成人対象) 回想サロン9/8、3/8、3/22、延べ17人、バリアフリー映画会、11/13、7人、絵本と安眠グッズ講座、5/29、9/11、延べ18人、映画会、8/18、2/16、延べ21人、大人のためのおはなし会、10/1、20人、マッチラベルコレクション講座、11/3、2人、布えほん講座、6/19、8人、3色パステルアート講座、1/29、8人、おはなし会よみきかせ講座、2/8～9、延べ25人	年間利用者数(人) (総合図書館、北部分室、南部分室の総計)	320,000	320,000	330,000	330,000	B	新型コロナウイルスの影響で、来館者数、貸出点数の回復が昨年度実績より減少している状況となっている。図書館講座・イベントは再開し、3年ぶりの図書館まつりは1日で2,387人の来館があった。利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえる図書館を目指しており、資料の収集、提供やイベント、学習室、インターネット環境など快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを今後も継続していく。	教育政策課
	町民のニーズに即したサービスを展開し、町民のだけれども、いつでも、どこでも身近に利用できる図書館を目指します。			239,407	229,922						

32	<p>公民館の有効活用</p> <p>地域の生涯学習活動の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等を開催します。</p>	<p>【町民センター】 55事業実施予定 【北部公民館】 50事業実施予定 【南部公民館】 52事業実施予定</p>	<p>【町民センター】 利用団体数:5,310団体 利用者数:59,369人 事業実施数:59事業、8,610人参加 【町民センター分室】 利用団体数:944団体 利用者数:8,681人 【北部公民館】 利用団体数:1,823団体 利用者数:16,682人 事業実施数:29事業、3,679人参加 【南部公民館】 利用団体数:、2,580団体 利用者数:24,882人 事業実施数:65事業4,424人参加</p>	<p>年間利用者数(人) (町民センター、町民センター分室、北部公民館、南部公民館の総計)</p>	<table border="1"> <tr> <td>140,000</td> <td>150,000</td> <td>160,000</td> <td>170,000</td> </tr> <tr> <td>84,806</td> <td>109,614</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	140,000	150,000	160,000	170,000	84,806	109,614			<p>B</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2、3年度は利用団体数、利用者数が大幅に落ち込んでいたが、令和4年度は回復しつつある。利用団体数は令和元年度実績を上回ったが、利用者数はサークルの高齢化、固定化により、サークルの会員数が減少していることから、利用者数は伸びなかった。今後は既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。</p>	<p>教育政策課</p>
140,000	150,000	160,000	170,000												
84,806	109,614														
33	<p>寒川総合体育館の有効活用</p> <p>施設の貸し出しや指定管理者による自主講座等を実施します。</p>	<p>○SNS等を活用した施設情報の発信 ○施設を適正に貸し出しするために必要な修繕等の実施 ○指定管理者による自主事業教室・講座を実施</p>	<p>① 開館日数:347日 ② 利用件数:7,535件 ③ 利用者数:174,166人 ④ IT施設予約:有</p>	<p>年間利用者数(人)</p>	<table border="1"> <tr> <td>143,500</td> <td>179,000</td> <td>214,500</td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td>150,167</td> <td>174,166</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	143,500	179,000	214,500	250,000	150,167	174,166			<p>A</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した利用者数について、コロナ対策を講じながら計画目標どおり順調に回復してきている。</p> <p>感染症に対する社会情勢をみながら、利用者の回復が達成できるよう、指定管理者と連携をとり施設運営を行っていく。</p>	<p>スポーツ課</p>
143,500	179,000	214,500	250,000												
150,167	174,166														
34	<p>スポーツ施設の有効活用</p> <p>登録団体等への貸し出しや指定管理者による自主事業を実施します。</p>	<p>○さむかわ庭球場のり改修工事と指定管理者制度導入準備。 ○川とのふれあい公園サッカー場芝生化実施 ○田端スポーツ公園、町営プールの指定管理者による自主事業実施</p>	<p>①開放日数 田端 :359日 倉見、川ふれ:365日 庭球場:111日 町営プール : 62日 ②利用件数 田端 :1,696件 倉見: 850件 川ふれ:1,385件 庭球場:599件 町営プール:個人利用のみのため該当なし ③利用者数 田端:53,851人 倉見:8,464人 川ふれ:8,614人 庭球場:3,016人 町営プール:23,721人</p>	<p>年間利用者数(人) (倉見スポーツ公園、田端スポーツ公園、川とのふれあい公園、町営プール、さむかわ庭球場の総計)</p>	<table border="1"> <tr> <td>88,000</td> <td>91,000</td> <td>95,000</td> <td>98,000</td> </tr> <tr> <td>121,772</td> <td>97,666</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	88,000	91,000	95,000	98,000	121,772	97,666			<p>A</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きく数値を落としした。しかしながら、令和4年度は、庭球場が8月より改修工事に入ったにも関わらず目標数値を超えることができた。</p> <p>また、寒川町営テニスコートは、令和5年度より指定管理者制度を導入する。町営プールに続き、指定管理者による運営施設が増えるため、指定管理者とより綿密に連携をとる必要がある。</p>	<p>スポーツ課</p>
88,000	91,000	95,000	98,000												
121,772	97,666														

35	学校体育施設の有効活用	学校体育施設等を地域の団体に開放し、学校施設の有効活用を図る。	①開放施設数 体育館：8(小学校5、中学校2)※中学校は夜間照明施設を含む その他：1(南小学校ふれあいホール) ②開放機関：令和4年4月～令和5年3月 ③総コマ数(実績)：9,398コマ 団体利用コマ数：7,003コマ	年間利用可能件数に対する利用率(%)	60.0	60.0	60.0	60.0	A	学校体育施設等を、学校教育に支障のない範囲で地域の団体に開放し、社会教育その他公共のために活用できた。 なお、令和4年度に公用等により開放を制限したコマ数は1,990。 全施設分を合計した平均利用率は74.5%となり、指標値を上回ったことからA評価とした。	教育施設給食課
	学校体育施設等を地域の団体に開放します。	・体育館 小学校 4,026/6,710コマ≒60% ・体育館 中学校 646/1,077コマ≒60% ・グラウンド 小学校 912/1,520コマ≒60% ・グラウンド 中学校 370/616コマ≒60% ・南小学校ふれあいホール 805/1,342コマ≒60%		65.5%	74.5%						
36	文書館の有効活用	・開館時(年間301日)において、随時、閲覧・レファレンスの対応を行う。 ・企画展1回(テーマおよび開催時期未定)、ミニ展示1回(「卯年のできごと」1月～3月)、古文書講座(5月～9月、計5回)ほかを開催する。	▼閲覧件数は121件であった。 ▼レファレンス件数は244件であった。 ▼古文書講座(令和4年8月～12月まで計5回開催、参加者合計70名)を実施した。 ▼ミニ展示「卯年のできごと」(令和5年1月15日～3月31日)を開催した。 ▼講座「新聞から地域の歴史を再発見！」(茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業、1月14日・22日の計2回開催、参加者合計10名)を実施した。	年間利用者数(人)	542	547	552	557	B	普及事業等が収蔵資料の利用者増に結実していない。収蔵資料の利用者増につながる事業内容を検討する。	総務課
	館蔵資料の閲覧、レファレンスを行うとともに講座や企画展等を開催します。	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会(地域集会所を持っている自治会を中心とした運営委員会の集合体)に委託し、施設の有効活用を図っていく。 また、寒川町指定管理者選定委員会会議の検討結果に基づき、指定管理の更新を行う。		510	445						
37	地域集会所の有効活用	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会(地域集会所を持っている自治会を中心とした運営委員会の集合体)に委託し、施設の有効活用を図っていく。 また、寒川町指定管理者選定委員会会議の検討結果に基づき、指定管理の更新を行う。	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、施設の有効活用を図った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため町が施設利用を制限したこともあり、年間利用件数は目標数値を下回る結果となった。	年間利用件数(件)	3,700	3,700	3,700	3,700	C	成果：寒川町公共施設再編計画による地域集会所の方向性について、現状や課題の把握に努めてきた。また、指定管理者による利用者への基本的な感染予防対策・周知の実施、町の空気清浄機の設置などによりコロナ対策にも努めた。 課題：台風や豪雨による雨漏りの修繕や経年劣化による空調機の交換等が必要な集会所が多く、長期的計画を立てる必要がある。	町民協働課
	地域住民活動での活用を図ります。	1,791		2,464							

【基本目標 1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 4】学習環境の充実

【施策 2】参加しやすくするための環境づくり

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
38	講座開催時の託児の実施	講座内容により託児を実施する。	講座内容に応じて、子育て中の人が参加しやすくなるよう託児を行った。	講座・教室等での実施件数(件)	45	45	50	50	C	子育て関係の事業において、託児ありで参加者を募集した講座や教室等は5件で、実際に希望者がいて実施された件数も同数だった。引き続き、子育て世代が安心して講座等に参加することができるよう託児を実施していく必要がある。	各事業担当課
	子育て世代が学習活動に参加しやすくなるよう、講座・教室等の開催時に託児を実施します。				2	5					
39	手話通訳・要約筆記等の配置	講座内容により手話通訳派遣を実施する。	講座内容や参加者の状況に応じて、手話通訳を配置した。	講座・教室等での実施件数(件)	10	10	10	10	C	4課の5事業において手話通訳配置を実施したが、要約筆記は実施されなかった。引き続き、全ての人が学習に参加しやすい環境づくりを行うため、手話通訳や要約筆記の配置を実施していく必要がある。	各事業担当課
	障がい者が学習活動に参加しやすくなるよう、講座・教室等の開催時に手話通訳や要約筆記等を配置します。				6	5					

40	夜間・休日の講座開催	講座内容により勤労者などの参加しやすい時間帯、曜日で実施する。	講座内容に応じて対象者が参加しやすい平日の夜間や休日に開催した。	平日夜間・休日の講座・教室等の開催回数(回)	255	255	255	255	A	講座内容や対象者に応じて、平日夜間や休日に講座や教室を開催し、参加しやすい環境づくりを進めることができた。	各事業担当課
	平日昼間に講座等の学習活動に参加することが困難な人のために、平日夜間や休日にも講座・教室等を開催します。				153	314					
41	講座開催時のアンケート調査の実施	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施する。	講座・教室参加者にアンケート調査を実施した。	講座・教室等での実施件数(件)	250	250	250	250	A	講座・教室の開催数増加に伴い、アンケートの実施件数も大幅に増加した。紙による実施ではなく開催方法に応じてe-kanagawaを使ってアンケートを実施した部署もあった。引き続き、参加者の満足度や意見等を把握し今後の講座等の実施に活かしていくため、アンケート調査を実施していく必要がある。	各事業担当課
	参加者の意見を聴取し、満足度や課題などを把握することで、参加しやすい環境づくりを推進するため、講座・教室等開催時にアンケート調査を実施します。				170	327					
42	インターネットを活用した参加申込	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申し込みが出来るようにする。	講座・教室等の申し込みについて、Eメールやホームページ上からも行えるようにした。	講座・教室等での実施件数(件)	15	20	25	30	A	動画配信やオンライン開催の実施に伴い、インターネットによる参加申込の件数も増えてきている。また、公民館ではホームページに申し込みフォームの機能を追加したため、参加者が大幅に増加するなどの効果があった。 ※公民館事業のインターネットからの申込受付を行った件数は未集計のため、実際の実施件数は多数にのぼる。	各事業担当課
	講座・教室等の開催時にEメールやホームページからの申し込みなど、インターネットを活用した申込受付を実施します。				39	※33以上					

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】学習環境の充実

【施策3】関係機関との連携による学習の支援

NO	事業名	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
				R3	R4	R5	R6				
43	県、各自治体、専門機関との連携	<p>・藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業を実施する。</p> <p>・茅ヶ崎市との連携事業はR3年度をもって終了とし、今後は町の課題や現状を踏まえ、生涯学習活動の充実を図ります。</p>	<p>令和4年度湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会は各市町の文化行政の在り方について情報交換を行ったり、各市町で抱える課題を洗い出し意見交換をしたりするなど、今後部会で取り組むべき課題について検討したため、事業は未実施。</p>	2	2	2	2	D	<p>令和4年度は5年間かけて実施した「湘南の魅力発見プロジェクト」が終了したことをうけ、事業は行わず、4回にわたり部会を開催し、意見交換を行った。令和3年度までは事業実施が最優先となり、2市1町の文化行政に対する情報共有を行う時間的余裕がなかった。そのため、令和4年度は1年間を通して、共通課題についての洗い出しや各市町の抱えている課題をお互いに認識し、情報共有を行うことができたことは今後の部会の取り組みを検討していくうえで、有意義であった。</p>	学び推進課	
	県や周辺自治体、専門機関等と連携し、町民の学習支援体制の充実を図ります。			1	0						
44	大学等の教育機関との連携	<p>2～3月に文教大学の教授等を講師とした「文教大学出張講座」を開催する。</p>	<p>【令和4年度文教大学出張講座】</p> <p>テーマ:「炭水化物は冷まして食べなさい! レジスタントスターチで腸活!!」</p> <p>・日時 令和5年3月18日(土) 午前10時～正午</p> <p>・参加者 13名</p> <p>・講師 笠岡誠一氏(健康栄養学部教授)</p> <p>・手話通訳2名配置</p>	1	1	1	1	A	<p>コロナの影響で講座の中止が続いていたが、令和4年度は4年ぶりに講座を開催することができた。実施後の参加者のアンケート結果も、概ね好評であり、参加理由としては、テーマに興味をもった方が大多数であった。今後は、参加者数を増やしていくため、時代に即したテーマや開催方法、対象者等も検討していく必要がある。</p>	学び推進課	
	大学等の教育機関と連携し、町民の学習支援体制の充実を図ります。			0	1						

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向1】学習成果を発表する機会の充実

【施策1】学習成果を発表する場の提供

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
45	文化祭の開催	第53回寒川町文化祭を開催 (10/1～11/6)	【第53回寒川町文化祭】 ・キャッチコピー「寒川の未来へ つなごう文化の輪」 ・開催期間 10/1(土)～ 11/4(金) 35日間 ・参加者及び見学者数 4,425人 ・事業数 19(10/1の式典含む)	参加者及び 見学者数 (人)	7,000	7,000	7,000	7,000	C	コロナが収束しない中での3年ぶりの開催となったため、式典の規模を縮小し、ヤングダンスフェスタを中止した。また、各団体に対しては参加申込制とした結果、2団体が不参加となった。参加者数及び見学者数は規模を縮小した理由などから、目標値には届かず、C評価となってしまった。しかし、関係者には高齢者が多いため、感染対策を図り、無理のない範囲で参加団体の日頃の活動の成果を発表できたことは、会員のモチベーションの維持にもつながったと考えられる。来年度は、文化祭のPR方法を検討し、より多くの来場者を目指したい。	学び推進課
	文化祭を開催し、文化芸術活動の成果を発表する場を提供します。				0	4,425					
46	公民館まつり等の開催	【町民センター】さむかわダンスフェスティバル、さむかわ合唱祭、さむかわ音楽祭 【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】公民館まつり、だがしや楽校	●サークル入会体験フェスタ 【3館共通】 実施①:5月1～31日、参加者数:34人 サークル新規加入者数:18人 実施②:11月1日～30日、参加者数:36人 サークル新規加入者数:14人 ●公民館まつり 【町民センター】3/4、5/来館者1000人 【北部公民館】3/11、12/来館者1,600人 【南部公民館】3/18、19/来館者1000人 ●だがしや楽校 【南部公民館】10/22、参加者65人 【町民センター】11/23、参加者193人 ●ブルースハーブ・ライブ・セッション、 5/28、233人(公民館サークル3団体参加) ●さむかわダンスフェスティバル、 7/23、502人(8団体参加) ●さむかわ合唱祭、9/4、472人(9団体参加) ●さむかわ音楽祭、10/29～30、842人 (15団体参加)	発表する場 の提供数 (件)	8	8	8	8	A	コロナ禍の影響により開催を見送っていた公民館まつりを4年ぶりに開催した。展示・発表のみで、模擬店やバザーなどの催しがなかったため、賑わいを求める意見もあったが、来館者が足を運びなくなる公民館まつりのあり方を再考する契機となったと考える。ウイズコロナ生活では活動発表の場が減少していたが、令和4年度はダンスフェスティバルや合唱祭などを再開し、町内団体が参加・発表する機会の提供ができた。だがしや楽校は令和4年度は南部公民館で初めて開催し、親子連れなど多くの参加があり、体験活動へのニーズが感じられた。	教育政策課
	公民館まつりやダンスフェスティバル、だがしや楽校等を開催し、町民が学習成果を発表する場を提供します。				10	11					

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策1】ボランティアの育成・活動支援

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
47	福祉ボランティアの育成・活動促進	寒川町で行われているボランティア活動の紹介や学びあうことができる講座を実施します。ボランティアに関心をもっていただくために、気軽に参加できるような講座を企画し、地域課題やニーズに対応できるようなテーマ性を持ってボランティアの養成に取り組みます。また、登録ボランティアの活動が活発になり、活動意欲が下がらず引き続き継続ができるようコーディネートを行います。	○ボランティアセンター運営事業（ボランティア活動の相談・斡旋・情報提供→ボランティア登録141人（内新規22人）、○ボランティア派遣1984人（電話での連絡調整や活動前後の説明等、活動人数とほぼ同数の対応あり、○ボランティアセンター・活動PR→広報紙、ハガキ、LINE、Twitterを活用、○ボランティア活動室・機材の貸出→ボランティアグループが使用、○ボランティア交流会（全3回の交流）、○ボランティア学びあい講座（受講者8名）とボランティア体験会（参加者60名） 【再掲】、○福祉有償運送事業の送迎ボランティア向け講習会（7名受講登録）、地域活動応援ルームの開設（地域活動のためのフリースペース）	社会福祉協議会ボランティアセンターの個人登録ボランティアの登録者数（人）	150	150	150	150	A	社会福祉協議会ボランティアセンターの個人登録ボランティアの登録者数（人）を目標指標としているが、ボランティア体験会やボランティア学びあい講座等の参加者も多く、目標は達成と考える。コロナ禍においてボランティア活動依頼自体が減少しており、登録しても活躍できないことが続いたため、モチベーション維持のための交流会企画などを実施した。今後、コロナ禍で減少したボランティアが活動するための場を開拓、作る必要があると考えている。	福祉課（社会福祉協議会）
	125				141						
48	健康運動ボランティアの地域活動の支援	健康運動ボランティア養成セミナーを以下の日程で開催予定 9月1日（木）、9月14日（水）、10月5日（水）、10月12日（水）、11月2日（水）、11月16日（水）全6回	全6回すべて実施。延べ参加人数30人。4人が健康運動ボランティアに加入。	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数（回）	45	45	45	45	A	健康運動ボランティア養成講座は4年ぶりの開催であり、その間新しいボランティアの増加がなかったため、今年度人数を増やすことができた。健康運動ボランティアの活動について、就労しながら活動している方やボランティアに時間かけられる人数が減ってきている。実際に活動できるボランティアの育成が課題。	健康づくり課
	0				44						

49	図書館ボランティアの育成・活動促進	【総合図書館】読み聞かせボランティア、書架整理ボランティア活動、ボランティア全体会	おはなし会ボランティア 令和4年度登録者数：10人 全体会：8/19、6人参加、2/24、9人参加 活動回数：25回、延べ46人参加 おはなし会よみかせ講座（育成研修会）：2/8、9開催、13人参加 書架整理ボランティア 令和4年度登録者数：10人 全体会：1回実施 活動回数：101回、延べ166人参加	ボランティアの登録者数（人）	35	35	40	40	C	令和4年度はボランティア活動を再開したが、これまでの登録者でこれを機に活動辞退の申し出もあった。登録者数は減少したが、おはなし会ボランティアは育成研修会を実施し、新規ボランティア登録を得ることができた。今後も町民と協働を考える上で、ボランティア活動の充実、活動の周知、育成に努める。	教育政策課
	町民と協働する開かれた図書館を目指し、図書館ボランティアの育成や活動支援をします。				26	20					
50	文書館ボランティアの育成・活動促進	写真、新聞等の資料の整理作業ボランティアを募集する（時期未定）。整理作業を通じて、記録資料の取扱い方を学んでもらう。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	ボランティアの登録者数（人）	6	6	6	6	D	感染症対策を考慮した事業内容（作業内容及び実施方法）を引き続き検討する。	総務課
	文書館での新聞、写真などの資料整理や展示準備などのボランティアの育成と活動支援をします。				0	0					

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策2】人材育成・活用の促進

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					R3	R4	R5	R6			
51	生涯学習人材登録制度の拡充	生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」の登録メニュー紹介の作成や制度のPRを目的とした登録講師の自主企画講座の支援を行う。	「ステップ・アップ」の登録者に対して内容や更新等の調査を行い、登録メニューを紹介したチラシを作成。町ホームページにおいて公開し、各施設に配架をした。登録講師による自主企画講座は新型コロナウイルス感染症の収束状況が見込めないため、中止とした。	人材登録制度登録者数（人）	35	37	39	40	B	令和4年度も新型コロナの収束が見込めず、自主企画講座は中止とした。コロナ禍において、活動の場が減少しており、人材登録者数も減少傾向にある。登録講師の活動の場を提供していくこと、制度の周知を図っていくことが今後の課題である。	学び推進課
	地域で知識、技能、指導補助等の意欲のある方を登録し、講師紹介や自主企画講座実施等の支援をします。				31	28					

52	生涯学習支援者研修の開催	茅ヶ崎市との連携事業はR3年度で終了したため、R4年度は町内で生涯学習活動に意欲のある方に対し、様々な方法を検討して研修の機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症の収束状況が見込めないため、未実施。	研修の開催回数(回)	1	1	1	1	D	新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないため、研修は実施できなかった。引き続き、様々な方法を検討していきたい。	学び推進課
	生涯学習人材登録制度登録者等の地域で生涯学習を推進する人を対象に研修機会を提供します。				0	0					

【基本目標3】 「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向1】 まちづくりにつながる学習機会の充実

【施策1】 地域やまちを知る学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
			4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					R3	R4	R5	R6			
53	文書館保存資料活用事業 寒川地域に関する記録資料を調査、収集、整理、保存し、利用に供するとともに、資料を用いた普及活動等を行います。	・記録資料の調査、収集、整理、保存作業を実施する。 ・企画展1回（テーマおよび開催時期未定）、ミニ展示1回（「卯年のできごと」1月～3月）、古文書講座（5月～9月、計5回）ほかを開催する。	▼燻蒸作業(令和4年6月6日～9日)を実施した。 ▼記録資料の寄贈を2件(令和4年6月3日、同10月4日)受けた。 ▼記録資料の寄託を1件(令和5年2月3日)受けた。 ▼『町史研究』34号を刊行(令和5年3月31日)した。 ▼古文書講座(令和4年8月～12月まで計5回開催)を実施した。 ▼ミニ展示「卯年のできごと」(令和5年1月15日～3月31日)を開催した。 ▼講座「新聞から地域の歴史を再発見！」(茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業、1月14日・22日の計2回開催)を実施した。	講座・展示等の開催回数(回)	12	12	12	12	A	普及事業等が収蔵資料の利用者増に結実していない。収蔵資料の利用者増につながる事業内容を検討する。	総務課

54	文化財学習センター事業	5月：考古学講座2回 6月：布ぞうり作り教室 10月：ワークショップ 11月：遺跡発表会	5/21,28:考古学講座全2回13人 6/20:布ぞうり作り教室11人 11/2:遺跡発表会24人 3/19:まが玉作り教室6人(公民館共催) 3/25:大神塚発掘現場見学会(雨天対応)9人 3月:出張展示 通年:観光協会出張展示	講座・展示等の開催回数(回)	8	8	8	8	A	開催予定としていたワークショップは令和4年度も一之宮小学校のお祭りが開催されなかったため、実施できなかった。しかし雨天となったが発掘見学会を企画し回数的には目標値を達成できた。しかし、参加者数はコロナ過前にはもどっていない状況である。 この他にも、文化財関連団体等と連携した事業を実施し、文化財の普及啓発を推進した。	教育政策課
	文化財の整理保存、修復を行い、展示等の公開事業や企画展、各種普及啓発事業を実施します。	3月：まが玉作り教室 2-3月頃：出張展示 通年：観光協会出張展示	その他連系事業 7/2梶原景時クイズ大会19人 1/21歴史クイズ大会16人(景時公の本躰実行委員会) 11/28大神塚講座11人(南部生涯学習推進員) 12/17お祭り講習会20人(郷土研究会・公民館)	8	8						
55	さむかわ出前講座の実施	町民で構成される団体やグループの依頼に応じて、町職員を講師として派遣する。	「さむかわ出前講座」の学習メニューを発行し、23講座を掲載した。 10団体から派遣依頼を受け、各課の協力により、5講座、合計14回実施した。(参加者数:のべ851人)	派遣回数(回)	10	10	10	10	A	令和4年度は前年度に比べ、コロナの影響を受けることが少なかったため、実施回数が大きく増加したと考えられる。申請団体に対して希望した講座の講師派遣を行い、学習機会の提供を行うことができた。受講後の感想も好評であった。引き続き、事業を広く周知するとともに、各課の協力を得て講座を実施していきたい。	学び推進課
	町民と行政が共に学びながらまちづくりを推進するために、団体等の依頼に応じ、学習を目的とした集会等に町職員を講師として派遣します。			6	14						

【基本目標3】「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向2】まちづくりにつながる活動の支援

【施策1】活動団体への支援

NO	事業名	4年度実行計画	4年度事業報告						R4 評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		4年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
				R3	R4	R5	R6				
56	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力（補助）を行います。	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う3団体に対し補助を行った。	実施団体数 (団体)	2	2	2	2	A	「不登校サポートネットワーク事業」、「小谷こどもカフェ」「一之宮北子ども食堂#ひろば」の3事業について支援決定をした。 町内に子育て支援をする団体が少ないことから、地域社会全体で子育てを支援していくための意識啓発が必要なため、更なる制度周知を行っていくことにより、支援数の増加を目指していく。	子育て支援課
	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力（補助）を行います。				2	3					
57	文化団体の育成・活動促進	町文化連盟への補助金支出や文化団体の広報活動への協力等を行う。	町文化連盟へ補助金を支出し、文化連盟や加盟団体の活動を支援した。また、活動場所の提供や広報活動の支援を行った。	文化連盟の 会員数(人)	1,100	1,100	1,100	1,100	B	文化連盟に加盟する団体の活動を支援することにより、町内の文化活動の推進、地域文化の振興を図った。 令和4年度は3年ぶりに町文化祭を開催することができ、団体や会員のモチベーション維持につながったと考えられる。会員の高齢化や加盟団体の脱退により、文化連盟の会員数の減少が続いている。引き続き、幅広い年齢層の参加や地域文化を継承していくことができるよう、活動の支援を行っていく。	学び推進課
	地域文化の振興及び継承ができるよう、文化団体の育成や活動支援をします。				891	798					
58	国際交流団体の育成・活動促進	さむかわ国際交流協会の国際交流・国際理解に関する活動を支援する。	年間を通して、日本語教室の春コース・秋コースを開催し、託児も行った。また、10月から12月にかけて全5回、オンラインでの指導も行った。 新たな事業としては、8月に2回にわたり、外部講師を招いて日本語ボランティア研修を実施し、のべ49名の参加があった。	国際交流団体の 会員数(人)	45	45	45	45	C	新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないため、交流自体が難しく、日本語教室や日本語ボランティア研修以外の活動ができなかった。コロナ禍においても、町内で生活を送る外国籍の人は増え続けており、今後はより一層様々な国の人々との共生が求められる。町民に対して国際理解や国際交流の取り組みを進めていくため、町として国際交流協会の活動を支援していきたい。	学び推進課
	国際化の推進を図るため、国際交流を行う団体の育成や活動支援をします。				27	25					

59	スポーツ団体の育成・活動促進	○寒川町スポーツ協会(旧：寒川町体育協会)・レクリエーション協会への事業費補助 ○イベント等開催に係る団体との連携 ○関係スポーツ団体へのスポーツ施設優先予約の実施支援をします。	①寒川スポーツ協会とレクリエーション協会の令和4年度実績報告書を確認の上、各協会への事業補助を実施。 ・スポーツ協会：990,000円 ・レクリエーション協会：125,000円 ②観桜駅伝については、新型コロナウイルス等の影響により中止になったが、さむかわスポーツデイは、関係スポーツ団体と調整したうえで、規模を縮小したうえで実施することができた。 ③令和6年1月～2月にかけて各団体と調整を行い、各団体がスポーツ活動を行うことができるよう支援する。	スポーツ団体の会員数(人)	5,500	5,500	5,500	5,500	A	新型コロナウイルスの影響で中止になっていた各団体のイベント大会や教室が、再開してきている。 各団体高齢化が進み、運営する担い手が限られてきており、団体の継続が困難な状況になりつつあるケースが見受けられる。 町が、各スポーツ団体と協力して行うスポーツ推進等イベントも復活してきている。そのようなイベントを通じて、町民の方々に対し、町のスポーツ団体への参加周知・啓発を行っていく。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、団体の育成や活動支援をします。			5,268	5,380						
60	環境団体の育成・活動促進	<目久尻川クリーン作戦> 実施日：全8回 4/16(土)、6/18(土)、9/17(土)、10/15(土)、11/19(土)、12/17(土)、1/14(土)、2/18(土) 人数：各回25～30人程度 <川の生き物調査隊> 実施日：7/30(土) 予定 定員：25人 <野鳥観察会> 実施日：1/21(土) 予定 定員：25人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、規模の縮小や中止の判断をすることがあります。	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、環境に関する活動を実施している「さむかわエコネット」に対して交付金を交付した。また、諸活動に対しても人的及び物的支援を行い、協働による連携により環境活動の活発化を図った。 目久尻川クリーン作戦 4月30人 6月23人 9月36人 10月33人 11月26人 12月26人 1月31人 2月37人 川の生き物調査隊 中止 野鳥観察会 29人	さむかわエコネット主催事業及び町との共催事業の参加者数(人)	250	260	270	280	A	天候にも恵まれ、目久尻川クリーン作戦は予定通り実施することができた。川の生き物調査隊は中止になってしまったが、野鳥観察会は目標人数以上の町民が参加しており、今後も積極的に参加してほしいと考える。また、参加者に若い世代が少ないため、幅広い年代の方も参加しやすいように工夫していきたい。	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境団体の育成や活動支援をします。			169	271						
61	自主防災組織の育成・活動促進	各地域の自主防災組織が実施する防災訓練を支援します。	各自主防災組織において訓練を実施した。自主防災組織訓練を実施した自治会(19自治会)参加者計：1,685人	訓練・研修会への参加者数(人)	2,750	2,750	2,750	2,750	C	今年度については、コロナウイルス感染症の対策を行いながらも訓練を実施する団体が増加したため、昨年度と比較して参加者数が増加したが、目標達成には至らなかった。未実施自治会もあるため、引き続き実施を促していく。	町民安全課
	防災対策の普及啓発を図るため、自治会に組織されている自主防災組織の活動を支援します。			863	1,685						

62	緑化推進団体の育成・活動促進	令和3年度に実施したeマーケティングリサーチのアンケート結果をもとに、広報やHP、SNS等の情報発信ツールを活用し、積極的に周知を図ることで公園愛護会の団体数や活動公園等数を増やす。	町広報に特集記事を掲載し、活動状況や愛護会制度の周知に努めた。また、町公式アカウントで愛護団体のSNSをフォローする等の対応を行った。 広報(特集) 1回 町HP(募集及び紹介) 各1ページ	協働による公園愛護活動を行う団体の登録数(団体)	9	12	15	18	A	愛護会の活動により、公園がきれいに保たれた。引続き各愛護会において発展的な公園の利活用が行われた(季節イベントごとの手作りオブジェの展示や公園植物の案内掲示等)町広報の特集記事により、愛護団体の増加につながった。	都市計画課
	町民に親しまれる身近な緑の空間である公園や緑地・緑道の運用やあり方について、町民との協働で維持管理を行う体制を整えることで、町民主体で整備や維持管理を実施していくことができる体制づくりを行います。				9	11					
63	ボランティア活動促進事業	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報、SNSで活動内容等を紹介する。	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報紙、ツイッター、フェイスブックで活動内容等を紹介した。併せて、町ホームページ「ボランティア登録団体の紹介」をリニューアルした。また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民の方とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体への情報提供にも努めた。他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において情報交換を行う。	「寒川町町民ボランティア団体等登録制度」ホームページ訪問数(件)	300	300	300	300	A	成果：広報紙、ツイッター、フェイスブックにて活動を紹介する際に、町ホームページへのリンクを添付することで、目標数値を大きく上回ることが出来、団体等の活動の情報発信に寄与出来たと考える。 課題：令和4年度中に2団体が解散した。共通する解散理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動できない状況が続いたこと。内1団体は高齢化も理由の一つに挙げている。今後は、団体等の周知により一層力を入れ、町民と団体等の接点を増やす事で、活動促進のサポートを行う。	町民協働課
	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、活動促進及び情報の共有化、町民のまちづくりへの参加を促進します。	また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民の方とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体同士の連携の推進に努める。他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において情報交換を行う。			280	1,419					

64	公民館サークルの育成・活動促進	【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】 サークル入会体験フェスタ、サークル作品展示・ワークショップ（5月・11月）	●サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施①:5月1～31日、参加者数:34人、サークル新規加入者数:18人 実施②:11月1日～30日、参加者数:36人、サークル新規加入者数:14人 ●公民館まつり 【町民センター】3/4、5/来館者1000人 【北部公民館】3/11、12/来館者1,600人 【南部公民館】3/18、19/来館者1000人	公民館利用者の会登録団体数(団体)	180	185	190	195	A	公民館利用者の会登録団体数については、前年度より減少となったが、会員が高齢者で人数が少ない団体の解散による減と、公民館講座を契機とした新サークル結成による増が同じようなペースとなっている。今後は既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。	教育政策課
	公民館利用者層の拡大につながるよう公民館サークルの育成や活動支援をします。			177	171						
65	協働事業提案制度推進事業	令和4年度実施事業について、事業を実施（4月-3月）し、年度途中に中間報告会を開催（11月）する。随時、進捗状況の確認も行う。	令和3年度に採択された事業について、令和4年度に3事業を実施した。年度途中の11月に中間報告会を開催し、事業の進捗状況の確認と団体へ助言等を行った。	協働事業提案制度相談回数(回)	1	1	1	1	A	成果：令和4年度は、目標数値を上回る3団体が事業を実施。令和5年度実施事業も1団体採択する事が出来た。 課題：提案団体等の固定化が課題の為、新規の層に、協働事業提案制度を認知していただけるよう、制度の周知に努めていく。	町民協働課
	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された町民と町との協働事業に対して事業協力（補助）を行います。	令和5年度実施事業について、事前相談募集（4月）、正式提案（6月）、協働事業選考委員会による審査（7月）を経て、提案事業を採択。結果に基づき、予算要求を行う。	また、並行して、令和5年度実施事業について、令和4年度中に1事業を採択し、その結果に基づき、予算要求を行った。	4	3						

「第2次寒川 学びプラン」令和4年度実績報告
【事業担当課共通の実績報告】

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】 学習環境の充実

【施策2】参加しやすくするための環境づくり

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計	38		39				40		41	42	事業の成果・課題等
			託児		手話通訳		要約筆記		夜間	休日	アンケート	インターネット	
			実績	実施	実績	実施	実績	実施					
1 広報戦略課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2 総務課	有	7	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して2本の講座を開催した。古文書講座については、応募状況から判断するにニーズのある事業と判断することができる。今後も継続していきたい。茅ヶ崎市との共催事業として実施した新聞を用いた講座は、参加者の応募状況に課題が残った。内容や広報の手段や方法について再検討する必要がある。
3 町民協働課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4 町民安全課	有	42	0	0	0	0	0	0	1	29	3	1	(災害対策)コロナウイルス感染症の影響もおさまってきており、昨年度と比較して実施回数・参加者共に増加した。また、動画配信やe-kanagawaを使ったアンケートの実施なども行った。 (交通安全)交通安全教室を令和4年度より再開した。
5 町民窓口課	有	4	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	・シニア向けスマートフォン教室は定員を超える申込があり、ニーズが高い講座のため今後も開催を検討する。 ・神奈川県と共催した男女共同参画講演会は、YouTubeによる動画配信にした。参加者が都合の良い時間に受講することができるため、申込者が予想を超える人数となった。 ・2市1町広域連携事業は対面方式による講演会だったが、平日にもかかわらず、ほぼ定員数の方の参加があった。コロナ感染対策をして開催された。 ・平和パネル展は総合図書館で開催し、多くの方が来場した。

6	子育て支援課	有	79	5	5	0	0	0	0	0	5	75	1	コロナ禍を踏まえ、オンラインでの事業実施も検討したが、対面での参加を望む声が大きく、人数制限を行うなど感染防止対策を講じながら、対面で事業を実施した。今後も、感染状況を考慮し、人数制限等の感染防止対策を検討しながら対面で事業を実施していく。
7	学び推進課	有	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	【文化・生涯学習担当】4年ぶりに文教大学から講師を招いて出張講座を開催することができた。参加しやすい環境づくりとして、土曜日での開催と手話通訳を配置した。また、実施後の参加者アンケートの結果は概ね好評であり、文教大学とも結果を共有することができた。次年度以降もアンケート結果を参考にしながらテーマの選定や対象者等を検討していく。
8	スポーツ課	有	14	0	0	0	0	0	0	0	14	0	1	新型コロナウイルス影響を受け、イベント規模を縮小して実施したものもあったが、多くの教室・イベントを再開することができた。 また、近隣市と連携して新規のスポーツイベントを行うことができた。
9	福祉課 (社会福祉協議会)	有	73	0	0	2	2	0	0	4	15	32	2	講座・教室等の開催回数の合計は昨年を大きく上回り、各講座等での参加人数も確保できた。対象者に合わせて開催の曜日や時間を工夫したことも効果があった。特に、介護に関する入門的研修は、令和3年度は全て平日開催にしたが、令和4年度は全て休日の日中の開催にしたところ、申込者からは「土日だから参加できる」の声が複数あり、受講者の年齢層も30代～80代と、より多くの町民が受講できる機会になった。
10	高齢介護課	有	99	0	0	1	1	0	0	1	9	34	11	(介護予防)新規参加者獲得の為、開催曜日を3か月に1度ずつ変更して開催し、参加者の12%ほどの新規参加者を獲得できた。一方で曜日が合わず定員割れを起こした回もあったのでR5年度は元の開催曜日に戻す。また、新型コロナで休止していた団体が活動再開し、介護予防講師派遣の申し込みが回復した。 (認知症) 新型コロナウイルスの感染拡大状況が落ち着いたことにより、講座の参加人数が前年度より2倍以上増加した。

11 健康づくり課	有	44	0	0	1	1	0	0	0	0	3	13	0	昨年度まで開催できなかった講座・教室について感染対策を講じて開催することができた。 アンケートからは活動の再開により、また地域との交流ができるようになってよかったとの感想が多く、引き続き実施できるように事業内容等検討しながら進めていく。
12 産業振興課	有	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	2	労政問題懇話会との共催による労働講座を開催し、勤労者等の災害に対する不安解消に寄与した。 湘南合同就職面接会では、寒川町・藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢の主催で、神奈川県等と共催し感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就労機会に繋がる事業を行った。 また、企業と高校の情報交換会について、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・大和市・綾瀬市・ハローワーク藤沢・ハローワーク大和及び各商工会議所(商工会)と共催で開催し、高校と企業の情報交換の場を創出した。 その他、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。
13 環境課	有	13	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	4	オンライン開催などを行い、昨年度より多くのイベントを行うことができた。今後は更に多くの町民に参加してもらえるように工夫していきたい。
14 都市計画課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15 教育政策課	有	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	8	事業によっては広報のみでは参加者が集まらない講座事業もあり、その場合lineの活用が特に参加への成果がみられた。
16 学校教育課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17 町民センター・公民館	有	183	0	0	0	0	0	0	0	2	131	132	多数	令和4年夏から公民館ホームページに講座申込フォームの機能を追加。青少年向け講座は参加申込者が増えて効果があった。
18 寒川総合図書館	有	100	0	0	0	0	0	0	0	2	71	19	0	コロナ禍で中止していた講座・イベントを令和4年度はほぼ再開し、多くの参加者を得ることができた。
19 教育施設給食課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		671	5	5	5	5	0	0	13	301	327	33		

「第2次寒川 学びプラン」令和4年度事業報告の評価(案)

<寒川町生涯学習推進会議評価>

施策の方向 「ライフステージに応じた学習機会の充実」事業No.4～18

○事業No.9「さむかわゆうゆう学園」の周知方法について、いろいろな工夫を行って、事業実施をしていただきたい。

施策の方向 「学習環境の充実」事業No.30～44

○事業No.41「講座開催時のアンケート調査の実施」について、アンケートを実施できるか否かを把握するべき。できないのであれば、理由の明記や代替案を検討していただきたい。アンケート実施率の向上が図られることを望む。

○事業No.42「インターネットを活用した参加申込」について、インターネットが有効利用されることを望む。二次元バーコードによる申込を積極的に進めていただきたい。

○事業No.43「県、各自治体、専門機関との連携」について、状況が変わったのであれば、別の判断基準にするべきであり、変更する対応をした方が良いのではないか。

○参加しやすい環境づくりとして、「夜間・休日の講座開催」や「託児の実施」、「手話通訳・要約筆記等の配置」を引き続き、実施していただきたい。

その他

○町民が学べる事業を積極的に取り組んでいただきたい。

○新型コロナウイルス感染症の影響があったことはやむを得ないが、現状認識が必要であり、次につなげていただきたい。

○3つの基本目標(「学ぶ」「活かす」「つながる」)の事業バランスについて、次期プランでは「活かす」「つながる」の視点を重視し、策定していただきたい。